

牧師の台湾原住民伝道報告

2006年8月2日～7日

通算4回目の台湾伝道になりますが、今回は「アッセンブリーの台湾宣教体験ツアー」に参加しました。





3日

台湾に着くとすぐ台湾原住民伝道の決起祈禱会。

次の日、バス2台で山地のタイアル族居住区の山地にむかいました。



途中の海岸で、洗礼式を行ないました。
7人の高校生達が洗礼を受けました。



山地に入ってすぐの村「寒溪村」に到着、この地の長老教会を中心に活動開始。日本からの4人と寒溪村の牧師



原住民には大切な弓を練習する。原住民の子供たちが、文化を忘れないようにとの企画でした。



原住民文化にとって大切な豚殺しの儀式。豚を殺すのは、その村の頭目にしか許されない大切な儀式だということでした。

頭目が刀を豚の心臓に差し入れたとき、原住民の中にワッと精神の高揚が湧き上がりました。



頭目がほぶった豚肉は、みんなでさらに切り刻んで焼肉サイズにします。私もやってみました。がうまくいきませんでした。



野口一郎先生も必死に刀をふるっていました。



焼いたり、煮たり、原住民はレバーをわさびをつけて刺身で食べたり。

すごすご馳走が並べられました。

そして、おいしい焼肉を村中の人々と食べました。

原住民は獲物でも捕ってきた人も、何もしなかった人も平等に分け前をもらえる習慣があります。厳しい生活の知恵から出た助け合いの精神です。



夜は、キャンプファイヤーの集会です。原住民は、ポリネシア系の血を引く民族で、歌と踊りがすごくうまい民族です。踊ること、踊ること。歌うこと、歌うこと。延々と集会は続きます。



歌に誘われて、原住民が続々と役場前の広場に集まってきました。

メッセージメモを置く台もなく、マイクと聖書を持って、懐中電灯で聖書もメモを読む事が出来ない状態に気づき、聖書もメモも脇の下に抱えてメッセージを始めるしかありませんでした。



メッセージが終わっても、歌と踊りは続きます。本当にうらやましいほど、原住民は歌と踊りが大好きでした。



4日

次の日、さらに山奥にある原住民の村「南山村」に到着。ここにはアッセンブリーの教会があります。



教会前で、日本から行った2人の姉と記念写真をパチリ。



さあ、夕食の準備。さすが豚を毎晩というのでは飽きるということで、鶏を食べることになりました。まず、原住民の文化を継承するために、鶏を捕まえることから始めました。今日の鶏は私が提供させていただきました。まず、鶏ののどの血管を切り血をボールに受けます。その血も原住民は固めて貴重な食料とします。野口先生も挑戦。赤いTシャツの原住民と結婚した丸山宣教師は、慣れた感じで原住民になりきっていました。



たくさんの鶏が犠牲となり、写真のような食材となりました。



夜は農協の倉庫みたいな所で伝道集会です。たくさんの原住民が集まってきました。

南山の原住民の中にも、悪い時代の影響が入ってきているのが見えました。アルコール中毒の人達が、トラクトを配っている時に多数見られました。10年くらい前に行った時には見えなかった光景でした。



「南山村」の集会は、野口先生がメッセージの担当でした。すばらしく力強いメッセージに一同励まされました。



5日

香港から来られた神学生たちと、最後の山の朝の記念写真を撮りました。

香港の神学生たちは数日間、山に残って伝道するということでした。

私達はバスで平地の台北に帰りました。



6日

朝早く台北の町には朝市があります。私は必ず朝市に行きました。台湾の市民生活が見えると同時に、お土産を安く買えるからです。

しかし、早く行き過ぎて、朝市がまだ始まっていなかったなので、そばの公園の太極拳に紛れ込みました。



奥に見えるのが朝市です。手前は朝の時間に腰掛けて、お友達と毎日おしゃべりをするオバアちゃんたちです。

毎朝、公園にはいろいろな人がグループを作り、集まっています。



時間になって教会の礼拝に行くと、入り口に懐かしい人が待っていました。顔先生のお父さんです。

彼は、若い時にタイアル族の酋長であり、牧師でした。この方は原住民のキリスト教化に大きな貢献をされた方です。

奥のいすに座っている方がその方です。



この日の礼拝は台湾の「父の日記念礼拝」でした。

「今日は、先生がこの教会の頭目ですから」とおだてられてタイアル族の衣装を着せられました。頭にはタイ式ボクシングのような物をかぶせられて、少し照れを感じました。しかし、見た目には違和感がなく、なじんでいるように見えるのは私も日本の山の民だったからでしょうか。

「愛に満ちたお父さん」という題でメッセージをさせていただきました。



礼拝後、父の日ということで、壮年は民族衣装で写真を撮りました。

原住民でも部族によって衣装が違います。

この後、ご馳走を頂きました。原住民の食べ物は食べた後に、材料を聞いた方がおいしくいただけます。カタツムリも入っていたようです。



朝の10時30分から始まった礼拝と、食事をはさんで行われた集会は、夕方5時頃まで続きました。

また、歌と踊りで、時間を気にしない人達でした。

さんざん歌い、踊ったのに、最後はみんなで輪になって踊ってから分かれるのだと、また踊りが始まり、踊りの輪に引きずり込まれました。しかし、日本人にはリズムが取れないで無様な格好を披露してしまいました。

次の日7日、日本に向かって台湾をたちました。